



内田市長へ申し入れ書を手渡す日本共産党浦安市議団・市委員長・市浦地区委員会副委員長

市政アンケートへの要望 実現にがんばります！

今年6月に実施した日本共産党の市政アンケートへ市民から寄せていただいた回答は、質問項目への丸印記入の他に、個別的な要望の記述欄へ954件にも及び記入がありました。これらを115項目にまとめて、11月2日、内田市長に対して申し入れを行い、速やかに善処するよう求めました。

今川橋交差点の改善へ

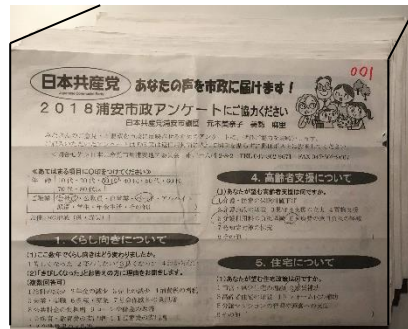
アンケートの回答には、賃金が一向に上がらず生活が苦しい現状や、老後から子育ての生活不安を訴える切実な声などが数多く寄せられています。日本共産党は寄せられた回答を所管別に取りまとめ(左表参照)、内田悦嗣市長に提出致しました。

申し入れの中で、2014年の市政アンケートでも要望があり、日本共産党が繰り返し改善要望を行ってきた「今川橋交差点の交通問題」について市長より「たまりスペースを広げられないか検討中」であると回答がありました。今川橋交差点は自転車と歩行者も混雑し事故もあり、今年度から歩車分離式信号となりましたが、危険な状態が続いています。

入船・美浜交差点 スクランブル交差点へ

今川橋交差点と同時期に、入船・美浜交差点についても歩車分離式信号となりましたが、開始当初からスクランブル交差点にするよう利用者から日本共産党へ改善要望があり、アンケートへ多数の要望をいただき、担当職員へ改善の申し入れを行ってきました。

市長より、入船・美浜交差点についての回答があり、待ち時間が長くなったなど改善の要望が寄せられていること、スクランブル交差点への検討がなされ、実施されることになりました。



福祉部	高齢者支援・介護について
健康 こども部	医療・健康増進施策について
	障がい者福祉について
市民経済部	子育て支援について
	住宅施策について
都市環境部	公園の増設と管理について
	タバコの喫煙問題について
	河川の水質・環境汚染について
都市整備部	犬・猫などの問題について
	自転車通行帯整備と自転車通行の マナー強化について
	駐輪場対策について
	バス交通について
	防犯対策について
	信号機の新設と改善について
	道路の補修・改善について
	旧防潮堤について
都市計画について	
総務部	災害・震災対策について
教育委員会	特別支援学校の市内への設置について
	学校図書館司書を正規雇用へについて
	学校部活動の改善について
企画部	教育費の負担軽減について
	郵便ポストの増設について
	公契約条例の早期制定について
	JRに対しての要望について

週刊
日本共産党
市議会報告

2018年11月5日

第1479号

【発行】
日本共産党
浦安市議団
☎ & F A X
047-350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎ 047-355-8526
minamotonon@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢麻里

北栄 2-3-16-203
☎ 047-354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp



車道のひび割れが広がり穴になるとタイヤがパンクすることもあります。北栄2丁目にて撮影

ひび割れ、穴ぼこ、ガタガタ、..

元町の道路の老朽化対策を！

元町地域の道路のひび割れが多くなっています。「ふたかけ側溝の穴につまづいて転んだ」「歩道では車椅子は通れない」「インターロッキングの破損はいつ修繕されるの?」「市民からの改善要望が絶えません。」

9が議会にて、市の現状把握状況と修繕計画について質しました。

元町地区の主要道路を点検

市は道路ストック総点検事業を2014年度から実施しています。

2014年度は、市内全域の主要道路、街灯1391本、標識94本等の道路附属物が対象、腐食、劣化等で補修及び交換が必要な状況になっているかを点検しました。

2015年度は、元町地区(当代島・猫実・北栄・堀江・富士見地区)の幹線道路・循環線・バス通り、交通量の多い主要道路50路線、61.7kmについて、舗装のひび割れ、わだち掘れ、平坦性、路床の状況を調査する路面性状調査が実施されました。

調査の結果に基づき、道路補修における優先順位を定め、適正な維持補修を実施していくとして、維持補修が行われてきました。

修繕が滞っている状況！

日本共産党の質問で修繕を行うことが望ましいMCI指数(※)が4以下の路線が8路線14区間あり、そのうち1区間は3以下の路線で早急に修繕が必要という結果となっていたこと、全ての路線の改修が終わっていないことがわかりました。

※MCI値とは舗装の維持管理指数
路面特性を表すひび割れ率、わだち掘れ量、平坦性(縦断凹凸)の3つの要因を組み合わせて舗装の破損程度を10点満点で総合評価した指数。

北栄2丁目にて撮影
傾斜の歩道に側溝がある



歩道の中心に側溝がある通学路
街路樹の根上りのため凹凸も

生活道路は調査対象外 パトロールの強化を！

総点検事業では、住宅地域などの生活道路は調査の対象となっていないませんでした。

インターロッキングについては、日々のパトロールと、市民からの通報で対応している状況ですが修繕が遅れているため、改善が必要です。

バリアフリー化への 修繕計画を早急に！

元町地域には、車が駐車場から車道へ出るために、歩道を斜めに切り傾斜となっている歩道があります。更にその歩道には、穴が開いているふたかけの側溝があるため、車いす・ベビーカーは通行困難ですし、障がい者・高齢者・乳幼児は側溝のふたの上を歩くことになり、穴が開いていてつまずき転倒もあり危険です。

市道のバリアフリー化に向けての修繕計画について質したところ、都市整備部長は「現状の道路構成では応急措置は対応が難しい、排水構造部の改修などでバリアフリー化を検討する」と答え、抜本的な修繕計画が示されませんでした。

日本共産党は今後も改善のために粘り強く取り組みます。